

## NEC iStorageシリーズ iStorage NS100Ta

---

# 2

## セットアップ

本装置お使いになれるまでの手順について説明します。

### 「設置と接続」(26ページ)

本体の設置にふさわしい場所や背面のコネクタへの接続について説明しています。

### 「システムのセットアップ」(35ページ)

本製品を使用するための初期設定の方法や、オプションソフトウェアについて説明します。

# 設置と接続

本装置の設置と接続について説明します。

## 設置

### 注意

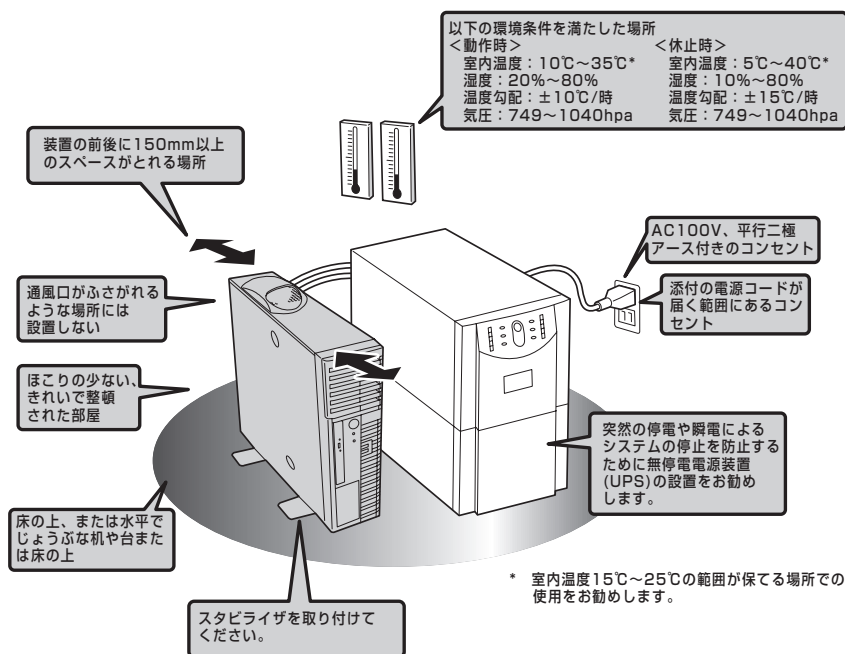


装置を安全にお使いいただくために次の注意事項を必ずお守りください。火傷やけがなどを負うおそれや物的損害を負うおそれがあります。詳しくは、iii ページ以降の説明をご覧ください。

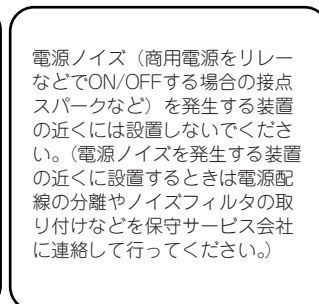
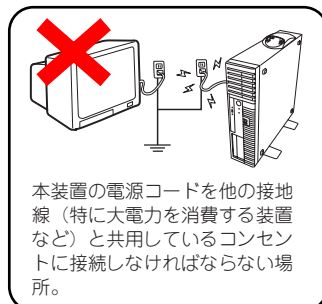
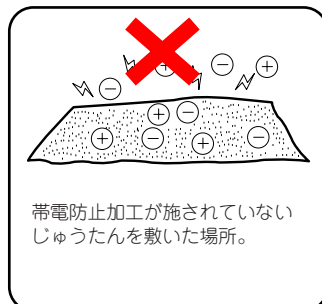
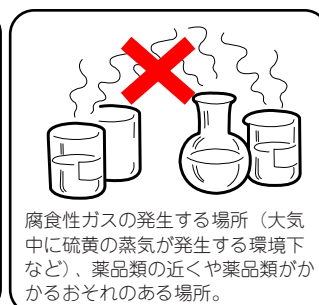
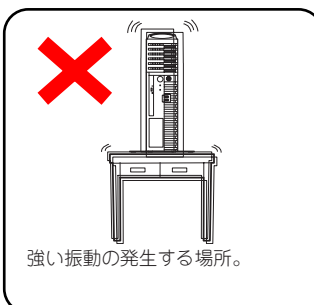
- フロントベゼルやエアダクトに手をかけて持ち上げない
- 指定以外の場所に設置・保管しない

本装置の設置にふさわしい場所は次のとおりです。

本装置をしっかりと持ち、ゆっくりと静かに設置場所に置いてください。



次に示す条件に当てはまるような場所には、設置しないでください。これらの場所に本装置を設置すると、誤動作の原因となります。



## 設置の準備

### 装置を縦置きにして使用する場合

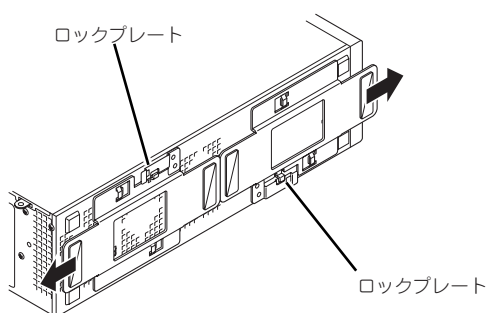
装置を縦置きにして使用する場合、装置底面に取り付けられているスタビライザをいったん取り外し、以下に示す向きに変更する必要があります。

また、装置上面に冷却用のエアダクトを取り付けてください。

#### スタビライザの取り外し／取り付け

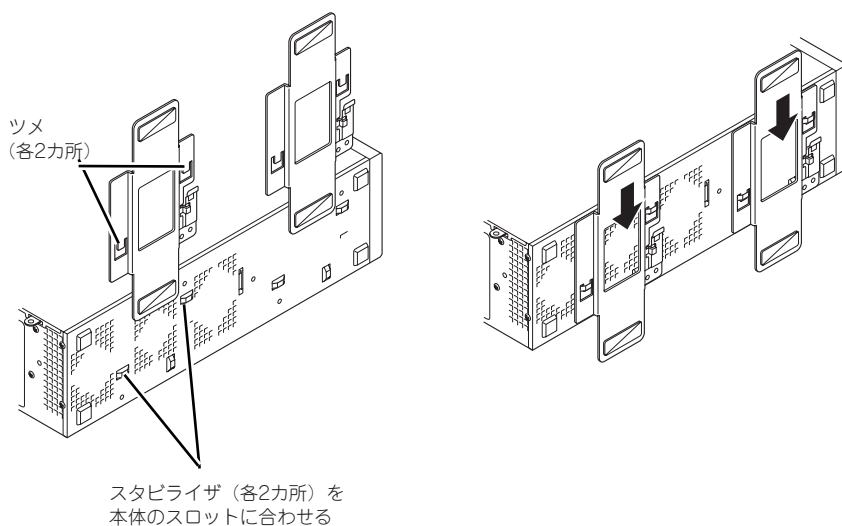
##### ● 取り外し

スタビライザにあるロックプレートを浮かせて、矢印の方向にスライドさせて取り外します。

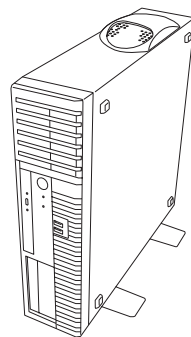


##### ● 取り付け

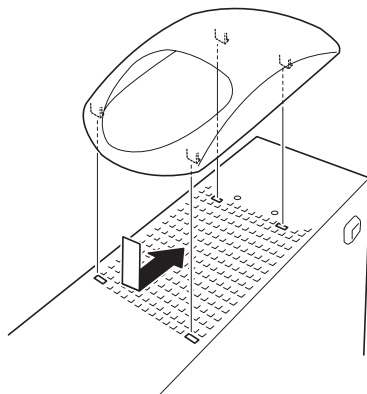
下図のようにスタビライザのツメを本体装置のスロットに差し込み、取り付けます。



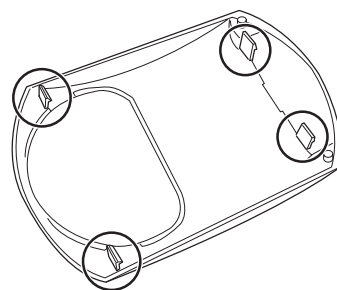
スタビライザを取り付けたら、図のように立てて設置します。



### エアダクトの取り付け



ツメ（4か所）を本体の溝に  
合わせて差し込む



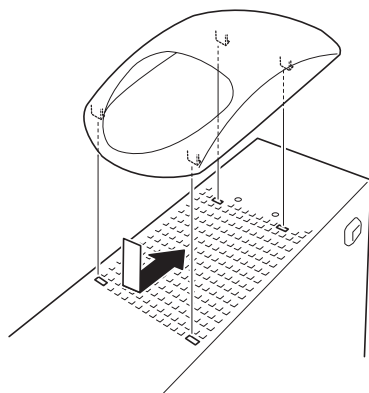
エアダクトのツメ（4か所）



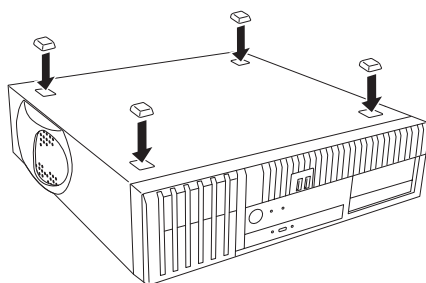
本体内部の冷却効果を保持するため、エアダクトは必ず取り付けてください。  
また、通風口がある面が壁やものでふさがれるような場所には設置しないでください。

## 装置を横置きにして使用する場合

装置を横置きにして使用する場合、図の位置に添付のゴム足を取り付けてください。また、装置右側面（縦置きした場合の上面）にエアダクトを取り付けてください。



ツメ（4か所）を本体の溝に合わせて差し込む



ゴム足を本体装置右側面の図の位置に取り付ける





- 本装置を横置きにした場合、上部に搭載可能なものの重量は5kg未満です。5kg以上のものを載せないでください。
- 冷却効果を保持するため、スタビライザとエアダクトは必ず取り付けてください。また、装置の左右には物を置かないでください。



## 接 続

接続するケーブルは、LANケーブルと添付の電源コードです。それ以外のコネクタには接続する必要はありません。ただし、次の場合は、それぞれのケーブルを接続します。

- UPS機器と接続する場合は、シリアルポートコネクタにシリアルケーブルを接続します（UPS説明書を参照して必要に応じて接続してください）。
- 本装置を直接操作する場合はディスプレイコネクタとキーボードコネクタ、マウスコネクタにそれぞれの機器を接続します（通常の運用では接続しません）。

## インタフェースケーブルの接続

 <b>警告</b>	
	<p>装置を安全にお使いいただくために次の注意事項を必ずお守りください。人が死亡する、または重傷を負うおそれがあります。詳しくは、iii ページ以降の説明をご覧ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● めれた手で電源プラグを持たない</li> <li>● アース線をガス管につがえない</li> </ul>

 <b>注意</b>	
	<p>装置を安全にお使いいただくために次の注意事項を必ずお守りください。火傷やけがなどを負うおそれや物的損害を負うおそれがあります。詳しくは、iii ページ以降の説明をご覧ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 指定以外のコンセントに差し込まない</li> <li>● たこ足配線にしない</li> <li>● 中途半端に差し込まない</li> <li>● 指定以外の電源コードを使わない</li> <li>● 電源コードを接続したままインタフェースケーブルの取り付けや取り外しをしない</li> <li>● 指定以外のインタフェースケーブルを使用しない</li> <li>● 添付の電源コードを他の装置や用途に使用しない</li> </ul>



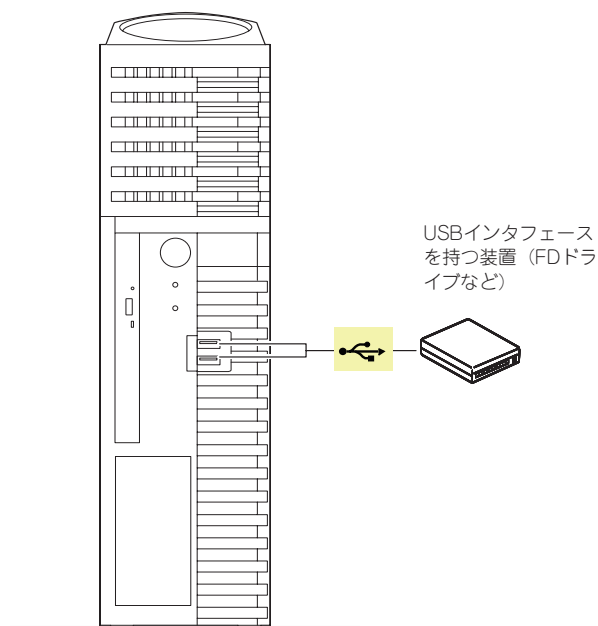
- 初めてのセットアップでは本装置標準装備のLANポートにのみ接続して初期セットアップを完了させてください。初期セットアップの完了後、増設したLANポートを使用する場合はLANケーブルを接続後、リモートデスクトップを使用して設定します。

オプションのLANコントローラについても、1枚単位で設定してください。

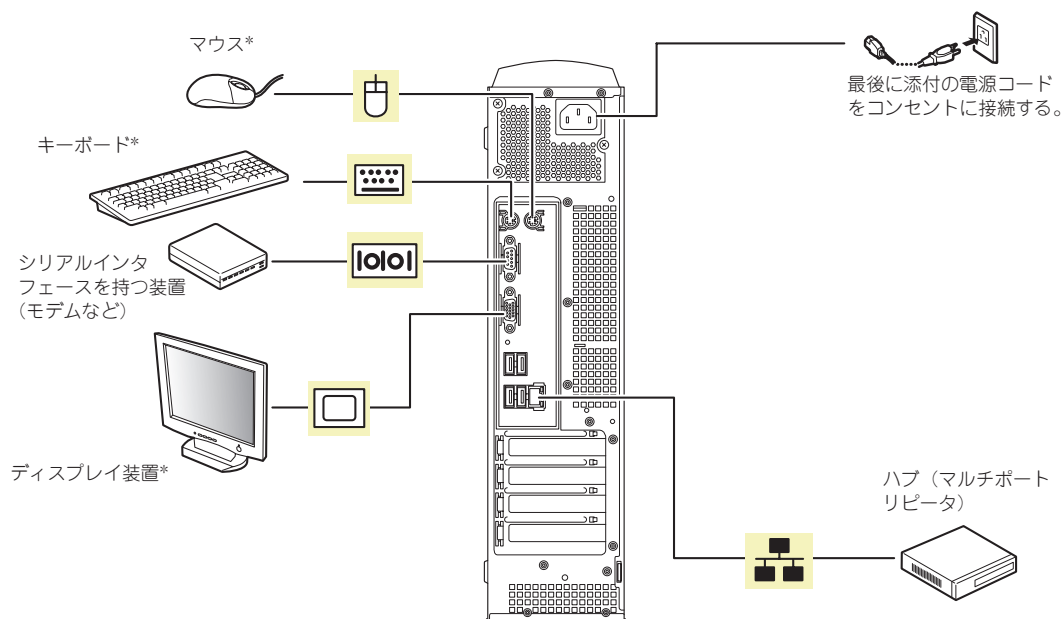
- AFT/ALBを利用したチーミングの設定では、設定の対象となるLANコントローラをまちがえないよう注意してください。
- 本装置および接続する周辺機器の電源をOFFにしてから接続してください。ONの状態のまま接続すると誤動作や故障の原因となります。
- 弊社以外（サードパーティ）の周辺機器およびインタフェースケーブルを接続する場合は、お買い求めの販売店でそれらの装置が本装置で使用できることをあらかじめ確認してください。サードパーティの装置の中には本装置で使用できないものがあります。
- 本装置に標準装備のシリアルポートから専用回線に直接接続することはできません。専用回線へ接続する場合には、必ず回線電気通信事業法で定められた認定を受けた端末機器から接続してください（専用回線とは、特定の利用者に設置される専用の伝送路設備およびその付属設備を指します。一般的な公衆回線も含まれます。）。
- マウス、キーボード、ディスプレイ（VGA）ポートは保守の際に接続します。通常は接続しておく必要はありません。
- 本装置のシリアルポートは無停電電源装置（UPS）接続用に初期設定されています。本装置のシリアルポートに管理PCなどのHWコンソール端末を接続して使用する場合は、ケーブルを接続する前にBIOSの「Console Redirection」の設定変更が必要です。「システムBIOSのセットアップ (SETUP)」(108ページ)を参照してください。



<装置前面>



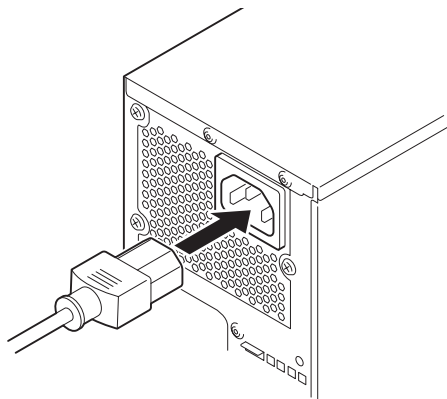
<装置背面>



\* 本装置の保守をするときにのみ接続する。

## 電源コード

添付の電源コードを接続します。



- 本装置の電源コードを無停電電源装置（UPS）に接続する場合は、UPSの背面にある出力コンセントに接続します。詳しくはUPSに添付の説明書をご覧ください。
- 本装置の電源コードを接続したUPSによって、UPSからの電源供給と本装置のON/OFFを連動(リンク)させるためにBIOSの設定変更が必要となる場合があります。  
BIOSセットアップユーティリティの「Server」－「AC-LINK」を選択し、適切なパラメータ値に変更してください。

# システムのセットアップ

システムのセットアップは専用の初期設定ツールを使います。初期設定ツールは「EXPRESSBUILDER」CD-ROMに格納されています。

## セットアップの準備

本装置を設定する前に、本体および本体標準装備のLANポートに割り当てる次の情報を準備してください。

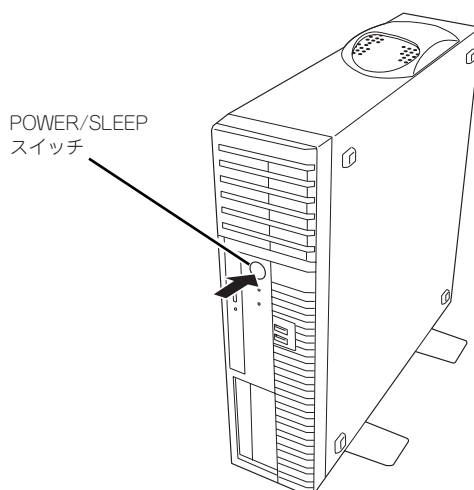
「各部の名称と機能」(9ページ)を参照して、LANポートの位置を確認してください。

- コンピュータ名
- 管理者パスワード
- IPアドレス
- サブネットマスク

## 電源のON

システムの電源をONにします。

1. 本体の電源コードがコンセントに接続されていること、および本体のLANポートがネットワーク環境として使用するハブに接続されていることを確認する。
2. 本体の電源をONにする。  
本体が起動を開始します。



## 初期設定

管理PCで初期設定ツールを使用し、本装置の初期設定を行った後リモートデスクトップで接続してパスワード変更などの設定を行います。

詳細な手順は、スタートアップガイドの「初期設定をする」、「管理PCからリモートデスクトップ接続を行って設定する」の項目に記載されておりますので、そちらを参照してください。

## その他の設定について

初期設定が完了しても、シャドウコピーなどNASの各種機能を使用するための詳細設定や、あらかじめインストールされている管理アプリケーションの固有のセットアップが必要です。管理者ガイドおよびオンラインドキュメントを参照して、必要なセットアップを行ってください。

本装置にインストール済みのアプリケーションは次のとおりです。

- ESMPRO/ServerAgent
- Universal RAID Utility
- エクスプレス通報サービス
- エクスプレス通報サービス(HTTPS)

すべてのセットアップが完了したら、本装置のシステム情報のバックアップをとります。バックアップはEXPRESSBUILDERを使用します。EXPRESSBUILDERの起動方法やシステム情報のバックアップの手順については、「EXPRESSBUILDER」(60ページ)を参照してください。

## BIOS設定の注意点

本書に記載の保守作業を正しく行うためには、BIOS設定の確認・変更が必要です。これらの作業を行う場合は、以下の点に注意してください。



BIOSの設定方法は、出荷時に本装置にとって最も標準で最適な状態になっております。次に説明する場合以外には、SETUPを使用する必要はありません。

## BIOSの設定方法

本装置の電源をONにするとディスプレイ装置の画面にPOST（Power On Self-Test）の実行内容が表示されます。「NEC」ロゴが表示された場合は、＜Esc＞キーを押してください。しばらくすると、次のメッセージが画面左下に表示されます。

Press <F2> to enter SETUP or Press <F12> to boot from Network

ここで＜F2＞キーを押すと、SETUPが起動してMainメニュー画面を表示します。BIOSの設定についての詳細は、5章の「システムBIOS(SETUP)のセットアップ」を参照してください。

### 本装置をEXPRESSBUILDER CD-ROMやバックアップDVD-ROMから起動する場合

「Boot」メニューを選択し、以下の順にデバイスが設定されていることを確認する。

- (1) [USB CDROM]
- (2) [IDE CD]
- (3) [USB FDC]
- (4) [USB KEY]
- (5) [IDE HDD]
- (6) [PCI SCSI]
- (7) [USB HDD]
- (8) [PCI BEV]

上記の順でなかった場合は設定を変更してください。

### コンソールリダイレクションを使用して管理PCからリモート操作を行う場合

「Advanced」→「Peripheral Configuration」メニューを選択し、以下のように設定されていることを確認する。

- [Serial port A] : Enabled
- [Base I/O Address] : 3F8
- [Interrupt] : IRQ 4

「Server」→「Console Redirection」メニューを選択し、以下のように設定されていることを確認する。

- [Console Redirection] : Serial port A
- [Baud Rate] : 19.2K
- [Flow Contraol] : XON/XOFF
- [Terminal Type] : PC ANSI
- [Continue Redirection after POST] : Enabled
- [Remote Console Reset] : Disabled



オプションのN8117-01A増設RS-232Cコネクタキットを使用して、シリアルポートBからコンソールリダイレクション機能を使用する場合は、上記の設定をシリアルポートBに対応した値に設定してください。

## 無停電電源装置（UPS）を使用する場合

無停電電源装置（UPS）を利用して自動運転を行う場合には、BIOSの設定を変更する必要があります。以下の手順に従ってBIOS設定を変更してください。

- **UPSと電源連動（リンク）させる場合**
  - － UPSから電源が供給されたら常に電源をONさせる。  
「Server」→「AC-LINK」→「Power On」
  - － POWER/SLEEPスイッチを使ってOFFにしたときは、UPSから電源が供給されても電源をOFFのままにする。  
「Server」→「AC-LINK」→「Last State」
  - － UPSから電源が供給されても電源をOFFのままにする。  
「Server」→「AC-LINK」→「Stay Off」
- **シリアル接続のUPSを使用する場合。**
  - － 「Server」→「Console Redirection」→「Console Redirection」の設定を「Disabled」にする（出荷時設定は「Disabled」です）。

## オプションソフトウェアの追加

本製品にはいくつかのオプションソフトウェアがあります。オプションソフトウェアは工場出荷時にはインストールされていないので、ご使用前にインストールする必要があります。本製品をサポートするオプションソフトウェアについては、販売店などにご確認ください。

各オプションソフトウェアをインストールする場合は、まずは以下の手順で本装置にアクセスします。

1. 管理PCからリモートデスクトップにて本装置へ接続する。

リモートデスクトップ接続については、「本装置への接続」(18ページ)を参照してください。

2. Administrator権限を持つユーザで本装置にログオンする。
3. オプションソフトウェアのCD-ROMを本体の光ディスクドライブにセットする。
4. リモートデスクトップ内でエクスプローラを起動し、CD-ROM内のセットアップ用のプログラムを実行する。

以降のセットアップの手順については、各オプションソフトウェアのマニュアルに従ってください。



オートラン機能でセットアッププログラムが起動するオプションソフトウェアについては、リモートデスクトップ上では自動起動しませんので、インストールディスクの中の「autorun.inf」の中に記載されているセットアッププログラムを実行してください。



オプションソフトウェアをインストールする場合は、各ソフトウェアの必要システム情報を参照してください。

